

有害プランクトン情報

(令和5年度 - No. 9)

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所・生産技術研究室
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾で沖合のプランクトン調査を行っている他、県内の貝類漁場でもプランクトンの出現状況を調べています。プランクトンの種類や密度によって、魚類のへい死や二枚貝の毒化を起こすことがあるため、毎月、有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

- 調査日 沖合 12月 第1回 内湾（8地点） 12/5 内房（7地点） 12/5
12月 第2回 内湾（8地点） 12/18 内房（7地点） 12/20
貝類漁場内 富津地区 12/11 千葉北部地区 12/11 木更津北部地区 12/12

東京湾(内湾)

【有害プランクトンの出現状況】

- 確認されませんでした。
- ※ シャットネラ属は1細胞/mL, シュードシャットネラ属は100細胞/mL, ヘテロシグマ属は1,000細胞/mL, カレニア属は100細胞/mL以上で注意報を発出します。
- 赤潮（透明度 1.5 m 以下, pH8.5 以上, 酸素飽和度 150%以上, クロロフィル a 50 µg/L 以上）はみられませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
- 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
- 沖合漁場でディノフィシス アキュミナータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
- ・ 12/5 アクア北（沖合）密度は0.05細胞/mL
 - ・ 12/18 船橋（沖合）密度は0.05細胞/mL
- 沖合漁場でディノフィシス ロツンダータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です
- ・ 12/18 アクア南（沖合）密度は0.05細胞/mL
- 沖合漁場でディノフィシス コウダータが確認されました。低密度であり、その後、確認されていません。
- ・ 12/5 アクア北（沖合）密度は0.05細胞/mL
- 貝毒の被害情報はありませんでした。
- （貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載）

東京湾(内房)

【有害プランクトンの出現状況】

- 確認されませんでした。
- 赤潮（透明度 1.5 m 以下, pH8.5 以上, 酸素飽和度 150%以上, クロロフィル a 50 µg/L 以上）は確認されませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

1 麻痺性貝毒原因プランクトン

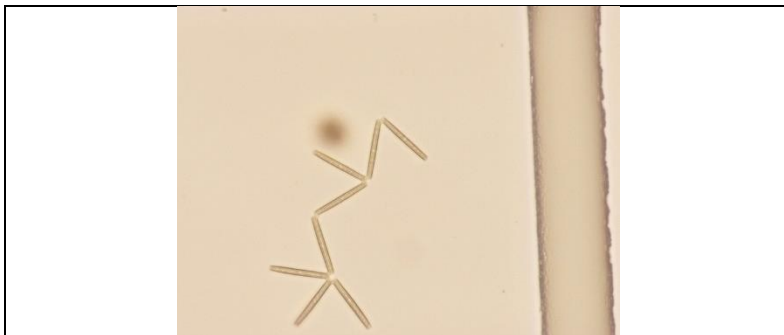
- 確認されませんでした。

2 下痢性貝毒原因プランクトン

- 沖合漁場でディノフィシス ロツンダータが確認されました。低密度であり、その後、確認されていません。
 - ・ 12/5 富津南（沖合） 密度は 0.05 細胞/mL
- 貝毒の被害情報はありませんでした。

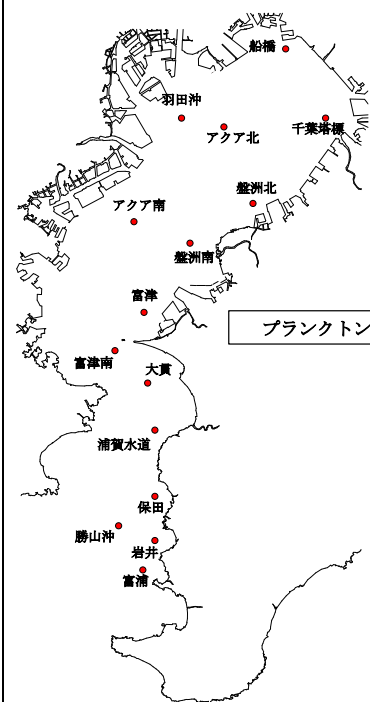
○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

- 12/5 内湾・内房 珪藻タラシオネマ属, キートセロス属など
- 12/18, 20 内湾・内房 珪藻キートセロス属など



タラシオネマ属
(12/5 富津)

○ 調査点（沖合漁場）



連絡先：千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所
〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp